

講演	 一系恭良 氏 ホツマ出版取締役社長。東洋大学観光学部にてホツマツタエなどのヲシテ文献の講義を受け持つ。平成 27 年度、柘植大学客員教授として、「世界の中の日本」においてホツマツタエの講義を行う。他に朝日カルチャー、伊勢修養団、にんげんクラブや全国各地でホツマツタエを伝える活動を行っている。著書に「ホツマツタエの旅」「やさしいホツマツタエ」「日本のかほり 漢字伝来以前にあった古代日本の文学と死生観」等多数。
講演	 宮崎照雄 氏 三重県出身。東京大学大学院卒業。三重大学名誉教授。定年を機に若い頃から興味を抱いていた「日本人とは？」を追求するべく、日本の古代史を温めることにより「古事記」「日本書紀」「先代旧事本紀」などの古文書を熟読し、理系学者として理系の知識で論考してきた。その成果をまとめた論文「神武は鯨を見たか？—神武東征と神武歌謡を考える」は、平成 27 年「邪馬台国全国大会 in 福岡」における論文募集において最優秀賞を受賞。新刊「日向国の神々の聖蹟巡礼」では、古代神話の本舞台は宮崎県北（延岡市・日向市・門川町）であると述べている。著書「三角縁神獣鏡が映す大和政権」、著書『日向国の神々の聖蹟巡礼』、著書『平成の御世の神々の発掘・伊勢ヶ浜に刻まれていた日向の神々の神蹟』
プラネタリウム	 後藤明 氏 宮城県出身。東京大学で考古学（修士）、ハワイ大学で人類学（博士）。南太平洋を中心とした海洋人類学、天文人類学を専門とする。沖縄海洋博公園内海洋文化館総監修、ディズニーアニメ「モアナと伝説の海」公式パンフレットへの執筆などを行う。日向市にある NPO 法人日本航海協会理事。著作に『海を渡ったモンゴロイド』、『海から見た日本人』、『南島の神話』『カメハメハ大王』、『天文の考古学』、『世界神話学入門』、他。現在は南山大学人文学部教授
ステージ	 時広真吾 氏 衣装デザイナー / 演出家。山口県出身。「文学的な抒情」「風が纏う衣装」と評されるスタイルは独創的な感性で生み出される「時広真吾の世界」。マレーシアなど海外や国立劇場、オーチャードホールで分野を越えたパフォーマンスやコラボレーションで注目されている。「美の種」プロジェクトでは社会と芸術を繋ぐ運動を続けている。海外ではオールラウンド・アーティストと呼ばれている。
ステージ	 青蓮 衣装デザイナー時広真吾のパフォーマー名。演技でもダンスでもない「衣装に語らせる」独自の表現形式「装艶」の創始者。2011年、マレーシアでデビュー。ドラマチック古事記のヨモツカミ、オオヤマツミノの神。大阪門真市の三島神社境内の樹齢1200年の薫蓋樟の精、宮崎県椎葉村では鶴富姫と奈須大八郎の魂を結ぶときの精霊を果たす。「登場した途端、場の空気を変える」と言われている。
ステージ	 Aika/橋本恵子 氏 サウンドセラピスト / 歌手・作詞・作曲 / 心音道講演家。兵庫県出身。国内外で50万人が涙した「魂に響く魔法の声」とされ、アジア、ヨーロッパ、アメリカ各国で日本の伝統美と言霊、音魂を伝え高く評価されている。大震災の直後に福島や熊本でチャイルドサポートを立ち上げ被災地で心身の癒しと再生に尽力。伊勢神宮・出雲大社式念遷宮をはじめ全国各地の神社、仏閣で平安を祈りご奉納を続けている。オペラ、ミュージカルにおいても主要役を務める。これまでにCD22枚、DVD書籍を発売。CDムック「魔法の声」「あなたの声は幸せを運ぶ風になる」
ステージ	 高野 巧 氏 新潟佐渡島出身。佐渡島で創設された和太鼓集団「鬼太鼓座」に参加し精神性・肉体的・音楽性の三位一体を目指して笛や太鼓、踊りなどに研鑽を積む。舞台ではフル・マラソン 2 時間 30 分の走力を買われて篠笛を担当。現在は姫路市に在住し、太鼓は人と人とのアンサンブルでより響き渡るもの、地をはう低音は生きる活力を、空を裂く高音は夢と希望を人々に与えてくれるものと信じて演奏活動を続けている。

9/28・29・30

28日(金)午後6時～

30日(日)午後1時

・日向市文化交流センター
 ・大御神社境内
 ・田の原～美々津

日向の國の ものがたり

いにしへの扉をひらく三日間

楔体験
遺跡ツアー

プラネタリウム・遺跡ツアーは
予約制

後藤明氏
～古代日向の空を見る～
「プラネタリウムは
タイムマシン」

いにしへの舞台
青蓮・Aika・高野巧

一系恭良氏
「縄文の心を
ホツマから学ぶ」

宮崎照雄氏
「天孫降臨と天照大神の
天岩戸隠れ」

同時開催
主催：スピリチュアル
ひむか観光協議会

主催：ひむかイズム

後援：日向市・日向市教育委員会・日向商工会議所・日向市社会福祉協議会・（一社）日向市観光協会・スピリチュアルひむか観光協議会
 NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・ケーブルメディアワイワイ・宮崎日日新聞社・夕刊デリー・みやざき中央新聞
 天文学振興財団・人類学的知の表現空間としてのプラネタリウム、日本列島のスカイプロの多様性（後藤明代表）

本事業は「神話の源流～はじまりの物語」磨き上げ支援事業」「日向市ひまわり基金助成事業」
 ※天文学振興財団「天文学普及・啓蒙事業」（※のみ採択団体はNPO日本航海協会）
 科学研究費補助金「人類学的知の表現空間としてのプラネタリウム：日本列島のスカイプロの多様性（後藤明代表）」に採択されています。

お問合せ：事務局 090-8627-7935（松木）